

須賀川信金

顧客情報管理システム導入

世帯情報を集約・効率化

る。一次運用を経て9月末までに本格稼働する予定。

顧客情報は「世帯管理情報一覧表」に集約。子供の就学状況や所有自動車の車検日など営業に活用できる属性情報や折衝記録を蓄積する。

一次運用では、手書きだった日報作成や顧客の世帯情報の登録をパソコン(PC)入力に変更。集金や新規勧誘など営業項目ごとの活動実績をPCから閲覧できるようにした。

9月末までに、日報などで入力した顧客情報と共同センターの還

元データを加工した同信金独自の取引メイン化データベース(DB)と連携させる。これにより、最新の顧客情報を「世帯管理情報一覧表」で把握できるようになる。

また、属性情報の「車検日」などを年一回自動更新する陳腐化防止機能と、「年齢」「住所」といった切り口で見込み先を抽出する機能も加える予定。

【仙台】須賀川信用金庫（福島県、加藤敏彦理事長）は、トランスソフト社（仙台市）の顧客情報管理システム「CIMS（システム）」を導入した。顧客情報を世帯ごとに管理して営業を効率化する